



〒863-0002 天草市本渡町本戸馬場1706-3
電話番号 0969-22-3668 FAX番号 0969-24-4393
電子メールアドレス amakusakaho@pref.kumamoto.lg.jp

家畜の暑熱対策について

今年も、いよいよ本格的な夏がやってきます。家畜は、下記の適温域を大幅に超えると、熱放散が間に合わなくなり、採食量や受胎率の低下等が引き起こされ、生産性に悪影響を及ぼします。家畜が快適に過ごせる環境を作り、生産性の低下を防ぎましょう。

家畜の適温域

家畜の適温域は畜種により異なるうえに、生育や生産ステージによっても異なります。主な家畜の適温域は以下のとおりです。

泌乳牛 5～20℃	育成牛 10～25℃
肉用牛 5～25℃	
繁殖豚 10～25℃	肥育豚 10～25℃
採卵鶏 20～30℃	肉用鶏 15～25℃

生産性への悪影響

- 増体量及び摂食量の低下
- 繁殖性（受胎率、造精機能、産卵率）の低下
- 暑熱によるへい死の増加
- 酸化ストレスによる肉質の悪化

暑熱対策

1 共通対策

- (1) 飼養環境の温度上昇を防止
屋根に散水、寒冷紗・遮光ネット設置、断熱材設置、石灰塗布、窓の開放、送風換気（除湿効果も）、遮蔽物の除去、密飼いの回避など。
- (2) 体熱の冷却又は放散
低温で十分な飲水の確保、細霧システム、送風換気など。
- (3) 食欲の維持（消化熱の影響低減効果も）
涼しい時間帯の給餌など。

2 畜種別の対策

- (1) 牛：毛刈り、給与粗飼料の細切、ビタミン・ミネラルの補給、夜間放牧。
- (2) 豚：頸部ドロップクーリング（ペットボトルクーラー）、高たんぱく高エネルギー飼料給与。
- (3) 鶏：飼料・飲水への重炭酸ナトリウム及び飼料への生菌剤の添加。



屋根への石灰塗布 中央家保広報より



頸部ドロップクーリング 岩手県家保広報より

夏季の死亡牛検査業務日程について

例年、夏場においては、暑熱により死亡する牛の頭数が増加します。また、気温が高くなると腐敗が短時間に進行し、適切な検査材料の確保と円滑な化製処理が困難となります。

そのため、(株)熊本蛋白ミール公社およびBSE検査所では、夏場対策として、7月から9月まで、受付時間を次のように延長します。

1 夏季の受付時間変更期間

平成29年7月1日～平成29年9月30日(3ヶ月間)

2 変更内容

(1) 土曜の午後も受付します。

	午前	午後
夏季	8時30分～11時30分	1時～3時
通常	8時30分～11時30分	休業

(2) 祝日等の対応

右のとおり祝日に加えて8月15日(火)が休業となります。

祝日等	祝日名等
7月17日(月曜日)	海の日
8月11日(金曜日)	山の日
8月15日(火曜日)	盆休み
9月18日(月曜日)	敬老の日
9月23日(土曜日)	秋分の日

迅速な搬入と搬入時間の事前連絡を、蛋白ミール公社(0968-26-3766)までお願いします。

※腐敗が著しく、適切な化製処理が困難となった牛については、月齢に関係なく「腐敗牛処理料35,000円」が徴収されるので、へい死畜を風通しの良い日陰に保管する等、腐敗予防対策を併せてお願いします。

海外悪性伝染病発生状況

病名	発生地	発生日	畜種	型
口蹄疫	ミャンマー	1月15日	牛	Asia1型
	中国	5月15日	牛	O型
高病原性 鳥インフルエンザ	台湾	1月9日～6月15日	家禽	H5N2
	中国	3月19日～6月16日	家禽	H7H9
	韓国	6月3日～6月21日	家禽	H5N8
	インドネシア	継続発生中		H5N1

平成29年6月22日時点

通報

家畜の異常を発見された場合はご連絡ください。
天草家畜保健衛生所 電話番号0969-22-3668

毎月20日は「くまもと家畜防疫の日」



©熊本県 2010 熊本県